

# 令和6年産ビール大麦等成熟期予測②

栃木県農業総合研究センター研究開発部麦類研究室  
 予測日：令和6(2024)年5月20日

○農業総合研究センター本場におけるニューサチホゴールドの成熟期は、平均気温が平年並に推移した場合、5月26日となる見込みである。

○向こう1か月の気象庁季節予報では、気温が高く、降水量が多く、日照時間が短い確率が高い。麦類全般に赤かび病の発生の増加が懸念されるため、防除対策を徹底する。

### 【麦類赤かび病について】

麦類赤かび病については、令和6(2024)年度 病虫害発生予察注意報 第2号(5月16日発表)が発出され、今後の気象によっては、さらなる発生の増加が懸念されるため、今後防除が可能な麦種では、早急に追加防除を実施するなど防除対策を徹底する。

※使用薬剤など防除対策に関する詳細な情報は、栃木県農業総合研究センターのホームページを参照。

栃木県農業総合研究センター ホームページ  
<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g59/boujo/yosatsu.html>



### 【今後の気象動向（気象庁季節予報令和6年5月16日発表より引用）】

- ・向こう1か月の平均気温は、高い確率70%
- ・降水量は、多い確率40%
- ・日照時間は、少ない確率40%

項目	地域	期間	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	関東甲信地方	向こう1か月 05/18~06/17	10	20	70
		1週目 05/18~05/24	10	10	80
		2週目 05/25~05/31	10	20	70
		3~4週目 06/01~06/14	20	30	50
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 05/18~06/17	30	30	40
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 05/18~06/17	40	30	30

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

## 【成熟期予測】

出穂期以降の平均気温（有効積算温度）により成熟期を予測すると、今後気温が平年並で推移した場合、農業総合研究センター本場（宇都宮市）のニューサチホゴールドデン\*の成熟期は**5月26日**、平年に比べ+1℃で推移した場合は**5月25日**となる見込みである。一方で、平年-1℃で推移した場合は**5月27日**となる見込みである。

収穫適期を逃さないよう注意が必要である。

※：播種期：2023年11月16日（前年11月7日・平年11月6日）

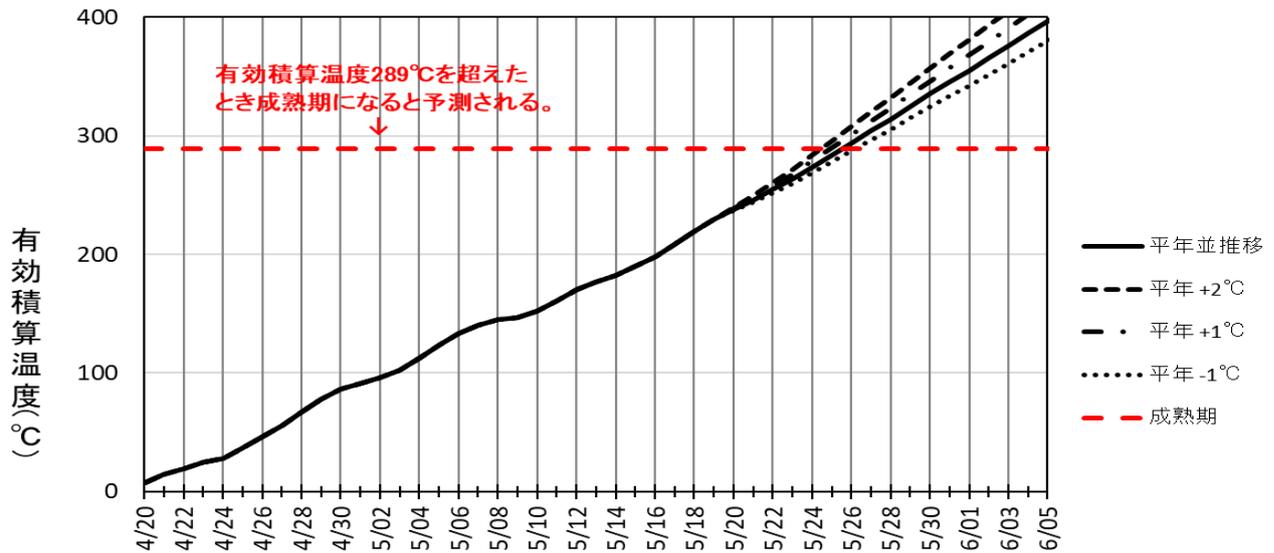


図 ニューサチホゴールドデンの成熟期予測（農研センター本場）

※有効積算温度＝Σ（日平均気温－有効下限温度（10.6℃））

※日平均気温は気象庁宇都宮アメダスの観測データを使用した。

※有効積算温度及び有効下限温度は、ニューサチホゴールドデンにおける出穂期から成熟期までの積算温度（平成25年度～令和4年度）で算出した。

## 【出穂期の概況】

今年度の麦類の出穂期について、農業総合研究センターのニューサチホゴールドデンは4月20日（平年+2日）であった。サチホゴールドデンは4月19日（平年+2日）、シュンライは4月25日（平年+7日）、さとのそらは4月28日（平年+6日）であった。

品種名	出穂期				
	本年	前年	差	平年	差
ニューサチホゴールドデン	4/20	4/8	+12	4/18	+2
サチホゴールドデン	4/19	4/9	+10	4/17	+2
シュンライ	4/25	4/12	+13	4/18	+7
さとのそら	4/28	4/18	+10	4/22	+6

※平年値

ニューサチホゴールドデン及びサチホゴールドデン：平成25～令和4年度（10年間）

シュンライ及びさとのそら：令和元年～令和4年度（4年間）

※播種期 2023年11月16日（前年11月7日・平年11月6日）